

人に優しくすることが平和への第一歩！

平成21年度平和の集い

12月12日、市中央生涯学習センターで「平成21年度平和の集い」が開催され、約850人の観客が集まりました。この集いは、平和の意義、戦争の悲惨さ、命の尊さ、個人の尊厳について考え、恒久平和を次世代に語り継ぐことの大切さを再認識し、平和と人権を尊重する社会の構築を目的に実施されています。

平成21年度NHK全国合唱音楽コンクールの茨城県コンクール金賞受賞の牛久第一中学校合唱部による発表に続き、昨年7月28日から30日まで、広島市に派遣されていた25人の「中学生平和使節団」による体験報告会が行われました（左写真）。

そして、

歌手でエッセイスト・教育学博士のアグネス・チャンさん（下写真）による「みんな地球に生きる人」と題した講演会が行われました。



原子爆弾「リトルボーイ」による悲惨な状況の発表などに、観客は息をのみました。



日本ユニセフ協会親善大使としてアフリカなどの貧しい地域の現状を目の当たりにした体験を語りました。平成15年にはイラク戦争後のイラクを訪れ、戦争で傷ついた子どもたちがつらい境遇にあることを知り、平和のためには「戦わない」という意思を持ち、他人に対して差別をせず、優しくすることが重要で、自分の受けた優しさの「輪」を次の人にも分けてあげることが平和を愛する心になると熱弁。平和の歌「ピースフルワールド」を歌うと、会場の観客も一緒に手で「平和の輪」を作りました。

自分の暮らし方を見つめ直そう！

うしく・くらし・環境まつり2009

12月5日、市中央生涯学習センターで「うしく・くらし・環境まつり2009」が開催されました。

講演会を前に、うしく・くらし・環境まつり実行委員長の大坂弘毅さんは「地球温暖化が大きな問題となっています。今日の講演会では、エコ生活に関係するキーワードを見つけ、持ち帰って明日から地球環境にやさしい生活を送ってほしい」とあいさつ。

「もっとステキにエコライフ」と題した林マヤさん（タレント・左写真）の講演会では、幼いころ母がカーテンなどの



明るいエコライフと人柄が人気の林マヤさん

生地で作ってくれたバッグや、自分で手ぬぐいやリボンを再利用して作ったクッションなどを披露しながら、自身のエコライフについてお話ししていただきました。マヤさんは、自宅で珍しい西洋野菜を中心とした有機家庭菜園を始め、家庭で出た生ごみをたい肥化し利用しています。また、地球環境のために割りばしの使用を控える『MY箸を持ち歩く会』を結成し活動しています。参加者は「エコも積もればエココトになる」というマヤさんのお話に聞き入っていました。

講演会以外にも「エコ・クッキング調理体験」などの体験コーナー、「マイはし持参でどん汁無料」などの食のコーナー、「エコ川柳・エコグッズ展示」「再生家具販売」など多くの家族連れなどにぎわいました。

再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。

平成22年1月1日(1016)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

☎029-873-2111 FAX029-873-2512

-広報うしく 2010.1.1-